



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2020・8・24 第28号

学年主任 森本 聡一郎

残暑に負けない気力溢れる生活を送ろう。

特別テーマ：「体育祭に向けてクラスの結束」

各自のテーマ：「〇〇の秋」（〇〇の中に自分に合う言葉を入れていこう）

普通であることを最低限のレベルと心得よう。

その最低限のレベルをどこまで上げていくかが課題です。

1. 「穂(みの)るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」

暑い夏でした。まだまだ残暑の厳しい日々が続きそうですが、丹波地方では早くも8月20日過ぎから稲刈りが始まっているところがあります。風雨や熱暑に耐えて成長した稲の穂先がたわわに実りだすと、稲穂はどんどん頭を垂れていきます。人間も中身のある人ほど謙虚な姿勢を示すものだという喩えで使われる表現です。頭を垂れていれば何とかなるというものではありませんが、人の成長の必須要素に「謙虚さ」は必ず含まれるでしょう。相手の話に耳を傾けるということは、相手に対する尊敬の念を備えているだけでなく、その人自身の心には素直さが宿っているということの裏返しで、世の中で信頼を得るためには身につけておくべき資質と言えます。また、そのような姿勢がなければ、いくら良い話を聞く機会があっても、その人の心や頭の中には届かず、結局は何の学習にもならないのです。

謙虚でなければいけないとは言いませんが、自然にそうなるように務めたいものです。少なくとも、不遜な姿勢で周囲に不快な思いはさせたくないものです。

2年生の2学期ともなれば、「中だるみ」対策が一番の課題です。今、ここで踏ん張れるか、自分の弱さに流されるかで大きな差がつきます。3年になって臍(ほそ)を嚙(か)むことになるのか、さらにステップアップできるだけの力を蓄えておくのか、この秋が分岐点になるでしょう。「分かっちゃいるけど…」では弱すぎます。準備や取り掛かりが遅くて、いつも切羽詰まってから何とかしようとするキミ達を見ていると、この時期にはしっかり追い立てていく必要があるように感じています。できる人が「僕は僕のペースで…」と言うのは許せませんが、仕事の遅い人や努力が相当求められる人までもが「僕は僕のペースで…」と言うのは認められません。いつまでも、お気楽な高校生活をやっていられないのですから、ぼちぼち将来に向かって歩みだしてください。

1) 体調管理

規則正しいリズムを守ること。生活時間帯のコントロールが最優先です。残暑が厳しそうな休み明けで、しかも日較差の大きな時期ですから、体調を崩さないように意識を高めておきましょう。健康あってこそその学習活動や部活動です。

2) 明確な目標や目的の設定

目標がしっかりしていないと、努力が形だけのものになります。将来何になるのか何がしたいのか、そのために今どこまで頑張るのか、などをはっきりさせることです。すぐに「何となくダルい…」という不定愁訴(ふていしゅうそ)を訴えることになりますよ。

3) 体育祭の完遂と修学旅行の準備

集団として安全かつ楽しい行事ができるように、協力して準備を進めよう。

1月29日(金)から修学旅行が控えています。新型コロナ感染対策を継続しましょう。

2. 「2学期当初の予定」

8月24日(月)	始業式、大掃除、LHR、キャンパスカウンセリング 高大接続改革推進事業3校合同発表会
25日(火)	課題考査①英語②国語③数学 ④LHR
26日(水)	課題考査①地歴②化学(理系のみ) 文系は授業 ③④授業 ⑤⑥身体計測 ※提出物をきちんと出すこと
31日(月)	科目選択予備調査締切 キャンパスカウンセリング
9月 4日(金)	短縮授業(45分×6)、準備
5日(土)	第1回オープン・ハイスクール
16日(水)	体育祭予行(リレー種目は予選)
18日(金)	体育祭
21日(月)	敬老の日
22日(火)	秋分の日
24日(木)	体育祭予備日①
25日(金)	体育祭予備日②
28日(月)	キャンパスカウンセリング



3. 「2学期に取り組んでほしいこと」 学年進路担当：石元 真理

本来ならば、高2の2学期は夏休みのオープンキャンパスへの参加を受けて、進路実現への具体的な取り組みが始まる時期です。今年はコロナ禍にあってそれも出来ず、「まだ志望校が決まらない。」という焦りの声が多く聞かれました。これに関しては、早く決まるのが良いことでも、決まっていないことが悪いことでもありません。むしろこういう時だからこそ、自分の目で見極め、確かな情報を収集する力を養ってください！

それでは、今すぐ皆さんにできること。それは、家庭学習時間の確保です。学習内容の定着には、やはり一定の時間が必要です。受験勉強の第一歩として、塾などの時間を除いた学習時間をいかに確保するかにかかっています。しんどいときの「あと一問、あと10分」の頑張りや、後に大きな差を生み出します。

なかなか集中できない人は、タイマーを活用するのもお勧めです。問題を解く際にも、どれくらい時間がかかっているのかを知っておくと、模試などの対策にもなります。いつでも、【時間感覚】を大事にしてください！

今年度の2学期はとても長いです。まずは、体育祭までの期間、授業・小テスト・課題の基本的な取り組みを大切にしながら、家庭学習時間では苦手科目(時間のかかりそうなもの)を中心に根気よく取り組んでいきましょう。今の頑張りや、次への貯えになりますよ。